

関ヶ原合戦地の歴史を Web 地図で可視化

— 歴史学と地理情報学の融合 —

関ヶ原町歴史民俗学習館
サポータ『不破ふわ塾』
代表 木村 寛之

キーワード

地理院地図 情報の可視化 古環境（海岸線） 地理・歴史 教育

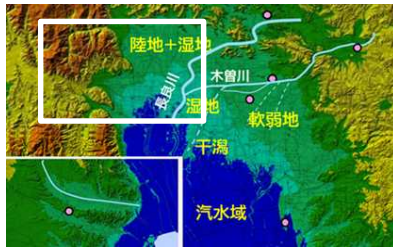
『不破ふわ塾』は関ヶ原町歴史民俗学習館サポータ（ボランティア団体）として「要の地・不破」を中心に歴史イベント「If 武将たちの関ヶ原」の企画・運営を行っている。地形情報に歴史情報を投影し可視化技術を利用しイベント資料を作成している。

濃尾の弥生期・古墳期・古代期の古環境推定図に、歴史情報を投影し「要の地・不破」を再検討。これに基づき各種イベントを実施。

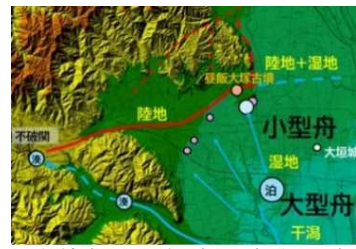
前回の作品：各時代の海岸線推定精度を高め、交通網の検討



弥生期は海の道による流通



古墳・古代は海の道が発達



白枠部分を拡大：海水・淡水に適した舟に進化

弥生期・古墳期の海の道（航路）は重要であった

今回の作品：「要の地 不破」 地形情報に歴史情報を投影し検討

広域からみた「要の地 不破」



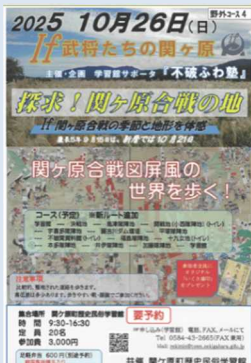
地理院地図（電子国土 Web）の利用



古絵図・屏風絵の世界を歩く



地形情報から城郭地形を探す



1mDEMの利用 土塁・土橋・平地(防衛)を探す



岐阜県 SC 立体の利用
(岐阜県森林研究所作成)



明治期の地形図を利用

